

令和6年7月31日（水）  
感染症対策課  
結核・感染症グループ 前田、石田  
087-832-3304(直通)  
内線：3620、3621

## 日本脳炎の感染に注意しましょう！

香川県では、県内での日本脳炎の流行予測を目的として、毎年6月から9月の間に、日本脳炎ウイルスの主たる増幅動物であるブタの日本脳炎ウイルスへの感染状況調査を行っています。

7月1日に採血したブタの検査結果が、ヒトに対する感染危険性の判断基準を超えましたので、県民の皆様に注意喚起のための情報提供を行います。

### 1 日本脳炎にかからないために

(1) 日本脳炎ウイルスを媒介する蚊（主にコガタアカイエカ）は、日没後に活動が活発になるとされているので、このような時間帯に外出する時には、長袖、長ズボンなどを着用し、露出している皮膚には、虫除けスプレーを使用するなど、蚊に刺されないよう十分に注意しましょう。網戸を使用し、蚊の侵入を防いでください。

特に乳幼児、高齢者は気をつけてください。

(2) 十分な栄養をとり、過労を避けるなど健康管理に努めましょう。

(3) 蚊の発生を助けるような水たまりなどをなくしましょう。

(4) 日本脳炎ワクチンの接種が有効です。

日本脳炎の定期予防接種の対象は第1期が生後6月から生後90月にあるお子さん、第2期が9歳以上13歳未満のお子さんです。定期接種対象の方には市町から案内があります。お住まいの市町にお問合せください。

### 2 日本脳炎とは

日本脳炎は東南アジア等に広く分布する病気で、日本脳炎ウイルスの感染によっておこる中枢神経（脳や脊髄など）の疾患です。ブタなどの動物の体内でウイルスが増殖した後、そのブタを刺した蚊が人を刺すことによって感染します。西日本に多く、蚊の発生時期である夏から秋にかけて報告されています。なお、人から人には感染しません。

日本脳炎患者発生数は全国的に毎年数名程度であり、香川県では平成7年に1名発生したのが最後です。

日本脳炎に感染しても、症状が現れずに経過する 경우가ほとんどですが、症状が出る場合には、1～2週間の潜伏期間の後に、数日間の高熱、頭痛、嘔吐などで発病し、重症例では、意識障害、けいれん、昏睡がみられます。脳炎を発症した場合の死亡率は20～40%とされており、乳幼児や高齢者では死亡の危険が高く、小児では障害を残すことがあります。

【調査の概要】

国の感染症流行予測調査実施要領に基づき、毎年、香川県環境保健研究センターにおいて、県内のと畜場に出荷される県内で飼養されたブタについて、日本脳炎に感染しているかどうかの調査を実施しています。

ブタは、人よりも日本脳炎ウイルスに対する感受性が高いため、ブタの感染がその地域の日本脳炎ウイルスのまん延の指標となります。ブタの間で日本脳炎ウイルスの感染が広がった場合は、人に対する感染の危険性も高くなっていると考えられています。

【検査】

○県内で飼養された生後6ヶ月のブタ各回10頭ずつについて、血清中の日本脳炎赤血球凝集抑制抗体価（HI抗体価）を検査します。

○1：40以上のHI抗体価を示す検体については、別に2-ME（2-メルカプトエタノール）感受性抗体を追加測定します。（この抗体を保有しているブタは、日本脳炎ウイルスに最近感染したと考えられます。）

○「HI抗体陽性率が50%以上（5頭以上から抗体保有が確認される。）」かつ「2-ME（2-メルカプトエタノール）処理法により新鮮感染抗体を有するブタが1頭でも検出される」場合は、ヒトに対する感染危険性ありと判定されます。

【検査結果】

7月1日に採血した10頭のブタについて検査したところ、HI抗体陽性が10頭（100%）確認され、その内HI抗体価40以上の3頭中、1頭から2-ME感受性抗体が検出されました。

【参考】 県内における過去の状況

年度	ヒトに対する感染危険性の判定基準を超えた日	年度	ヒトに対する感染危険性の判定基準を超えた日	年度	ヒトに対する感染危険性の判定基準を超えた日
H6	8月 1日	H16	8月17日	H26	7月14日
H7	8月 8日	H17	8月 1日	H27	9月 7日
H8	8月12日	H18	8月21日	H28	7月 4日
H9	8月25日	H19	調査を行っていない。	H29	8月 7日
H10	8月17日	H20	8月 4日	H30	基準を超えなかった。
H11	8月 2日	H21	8月 3日	R元	8月26日
H12	8月 8日	H22	8月 9日	R2	6月29日
H13	基準を超えなかった。	H23	7月25日	R3	7月19日
H14	8月 5日	H24	7月23日	R4	7月 4日
H15	9月 8日	H25	7月17日	R5	8月28日

日本脳炎の国内報告患者数

年	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
報告患者数	2	2	11	3	0	9	5	3	5	6	1

（感染症発生動向調査より R6年は、7月24日までの報告数）